



第32回インターウニ・ゼミナール（ドイツ語ドイツ文化ゼミナール）

32. interuniversitäres Juniorenseminar für deutsche und japanische Kultur

参加者募集のお知らせ

私たちの未来：「3.11」のあとで —*Unsere Zukunft nach dem 11. März*

日時：2013年3月13日（水）～16日（土）

場所：国際医療福祉大学那須セミナーハウス (<http://www.iuhw.ac.jp/life/seminar/userguide.pdf> 栃木県那須塩原市金沢2067-1) 往復のチャーターバス（片道2500円）が東京（池袋駅）から出ます。

参加費：32,000円（3泊4日宿泊代、食事代、テキスト代、通信費、保険料を含む。往復バス利用のみ別料金です）

募集人数：80名程度（申込み順。ドイツ語を学ぶ学生・院生を対象としますが、ドイツ語学習歴があれば社会人も可）

問い合わせ先：インターウニ実行委員会 (<http://www.interuni.jp/kontakt>)

申込み締め切り：2013年2月20日（水）（なお、それ以前でも応募者が定員を満たした段階で締め切りますが、締め切り後でも空きがあれば受け付けますので、2月末頃まではインターウニ実行委員会までお問い合わせ下さい。）

備考：申込みが予定数を越えた場合はキャンセル待ちとなります。

講師（予定）：足立 信彦（東京大）、相澤 啓一（筑波大）、Stefan Buchenberger（神奈川大）、浜崎 桂子（立教大）、林志津江（北里大）、Christoph Hendricks（ジャーナリスト）、三澤 真（武蔵大）、三ツ石 祐子（慶應大）、鎌倉 澄（学習院大）、Katharina Muelenz（立教大）、大山 浩太（明治大）、Matthias Pfeifer（静岡県立大）、Marco Schulze（山形大）、須藤 温子（日本大）、高橋 優（宇都宮大）他

ゲスト：Reinhard Zöllner（ボン大）、NN（韓国より）

参加申込みは次のサイトから（「インターウニ」で検索！）：

<http://www.interuni.jp/anmeldung>

主催：インターウニ・ゼミナール実行委員会（代表：相澤 啓一、浜崎 桂子）

ホームページ：<http://www.interuni.jp/> お問い合わせ：<http://www.interuni.jp/kontakt>

共催：筑波大学（TRANS/TEACHプログラム）

協力：Goethe-Institut Tokyo（ドイツ文化センター）、Deutscher Akademischer Austauschdienst（ドイツ学術交流会）

	Mittwoch, 11. 3.	Donnerstag, 14. 3.	Freitag, 15. 3.	Samstag, 16. 3.
8.00		Frühstück 起床・朝食		
9.00		Gruppenunterricht グループ授業	Gruppenunterricht グループ授業	Gruppenpräsentation グループ発表
12.00	Anreise 到着	Mittagessen + Pause 昼食・休憩		Abreise 解散
14.00		Einführung 案内 Gruppeneinteilung グループ分け	Gruppenunterricht グループ授業	
17.00	Abendessen + Pause 夕食+休憩			
19.00	Gruppenunterricht グループ授業	Abendprogramm	Schlussfeier パーティ	
21.00	!!!?? Kneipe / Nachtruhe / 就寝? ?!!!			

インターウニ・ゼミナールは、せっかく習ったドイツ語をもっと学びたいと願い、またドイツ語圏の地域や日独文化交流に関心を持つ学生たちが、全国から、そしてドイツや韓国からも集まって議論する合宿ゼミです。いろいろな学生・教員がさまざまな大学から集まって(*interuniversitär*)、一つのテーマについて日独の文化を比較・対照しながら(*interkulturell*)、専門の枠を超えて(*interdisziplinär*)、国籍や文化、性差や世代や（例えば教師と学生といった）立場の違いを超えて互いに学びあう(*Inter-Lernen*)というゼミです。ゼミでは、できる範囲でなるべくドイツ語を使って議論してみましょう。ドイツ語を習い始めたばかりの大学1・2年生にとっては、実際にドイツ語を口に出してコミュニケーションにトライしてみる絶好の機会です。もっとドイツ語ができる人はテーマをめぐって自由に議論してください。ドイツ語能力別の少人数クラスが編成されますので、自分にぴったりの居場所が見つかります！ アクチュアルなテーマとドイツ語学習を欲張りに組み合わせるインターウニに参加して、全国各地の大学から来る新たな友人や日独の教員、さらにはドイツや韓国から来る学生たちと、ドイツ語漬けの充実した4日間を過ごしてみませんか？

今回のテーマ： 私たちの未来：「3.11」のあとで — *Unsere Zukunft nach dem 11. März*

みなさんは自分の未来をどのように思い描いていますか？ たとえば「5年後の自分」の姿を、どんなふうに想像しているでしょう？ 卒業後の生活に具体的な目的や夢がある人もいるでしょうし、また就職活動や自分の将来に不安を持っている人もいることでしょう。どんな仕事をし、どんな生き方をするかは、もちろん一人ひとり違います。しかし私たち一人ひとりの「未来」のありかたは、単に個人だけの考えや力で決まるのではなく、当然、社会全体の「未来」とも密接に関連しています。

日本の社会は大きな過渡期にさしかかっているようです。一昔前の日本であれば、高度成長経済下の「終身雇用」で守られていて、経済力はアジアでダントツでトップでした。でもいつのまにか GDP でも世界の影響力という点でも日本は中国に抜かれ、国境紛争が深刻にこじれて先が見通せません。メディアでよく取り上げられる現代社会のキーワードを拾ってみるだけでも、デフレ、環境問題、少子高齢化、世代間格差、グローバル化、非正規雇用など、暗くて先行きが見えにくいものも多く、とりわけ若者にとって希望が持ちにくくなってきているようです。とはいえそんなに悲観することもないのかもしれませんが。だって、ツイッターやスマホに代表される新たなメディアによって人間関係も変化してきていますし、そこでささやかな「幸福」に満たされている若者たちも少なくないのですから。

そうした中で「3.11」は、やはりさまざまなことを考えさせるできごとでした。2011年の3月11日、福島で開かれていた第30回インターユニも文字通り大揺れとなりました。これまで30年も福島県白河市で開いてきたインターユニが今回別のセミナーハウスで開かれることになったのも、あの地震のせいです。その「3.11」の経験を通じて私たちは、大災害がごく身近に起こることを改めて学び、放射能や原発問題の身近さと深刻さを経験し、社会的コンセンサスを作ることの難しさを見てきました。以来「3.11」は、人と人とのつながりについて、エネルギー問題について、政治と個人の生活の関係について、いろいろな問いを私たちと私たちの社会に向けてずっと投げかけ続けています。それはきっと、皆さんの人生にも直接かかわるものとなっていくことでしょう。「3・11」後の社会はこれからどう変わろうとしているでしょう？ そしてそれは、みなさんがそれぞれ思い描く「未来」なのでしょう？

今回のインターユニでは、ドイツ語を学びながら、みなさん自身の未来と、「3.11」後の社会の未来とを関連づけて考え、日本語とドイツ語でさまざまに議論をしてみたいと思います。インターユニはいつも、「全国各地からの新しい仲間たちと楽しく集中的にドイツ語を学ぶ」とことと「大学生らしく批判的知性を磨く」とことという、2つの目標を追い続けてきています。楽しくドイツ語で話をしたり、グループでドイツ語のプレゼンを作ったりしながら、新しく知り合う仲間たちと真剣に語り合っ、ドイツ語漬けの4日間を過ごしていきましょう。ドイツが好き、ドイツ語をもっと学びたいという人はもちろんのこと、ドイツ語を始めたけどドイマイチという人も、あるいはもっぱらテーマが面白そうだという人も、是非積極的に参加してください。ゼミナールにはドイツ語圏から来日中の学生や韓国からのゲストも参加する予定です。講師たちも皆さんとの議論を楽しみにしています。

2012年12月

- ◎ 開催場所は交通の便が悪く、自家用車の利用は原則として禁止していますので、東京都内から研修所まで貸切バスを往復でチャーターします。3月13日の往路は午前10時に東京のJR池袋駅発、16日の帰路は夕刻に池袋駅着の予定です。途中、JR利用者のために、それぞれ東北本線・西那須野駅に立ち寄ります。バス料金は、東京から研修所までが片道2500円、西那須野駅からの利用は片道500円です。（16日の復路も同額です。）バス利用を希望する場合、ゼミ申込みと同時にバスの利用も申し込んでください。またバス代は参加費と一緒に、事前に払い込んでください。
- ◎ ホームページから申し込みをすると、登録アドレス宛に実行委員会から受付確認メールが送られますので、それに従って参加費とバス代の合計金額を、所定の口座に振り込んでください（詳細は受付確認メールにてお知らせします）。
- ◎ 授業は、ドイツ語の語学力別に編成する10名程度の小グループで行います。グループ分け、そのほか詳細については、申し込み受付後、メールおよびWeb上にてお知らせします。
- ◎ 申し込み後のキャンセルや部分参加の場合、実際にかかった経費の実費分を除いて返金します。（必ず事前に連絡してください。キャンセル手続きの詳細については、申込み手続き後にお伝えします。）
- ◎ そもそもインターユニとは何なのか？ また、以前のゼミナールの様子やテーマ等については、インターユニのホームページ <http://www.interuni.jp/> に詳しく掲載してありますのでごらんください。
- ◎ セミナーハウスのある那須塩原市周辺は、比較的放射能値の高い場所となっています。実行委員会ではその点にも十分注意し、セミナーハウス内外の値を実地に計測しました。その結果、建物周囲の草地では平均して0.6~0.7 μ Sv/hほどが計測されますが、建物内部では平均して0.15~0.2 μ Sv/h、最高値でも0.22 μ Sv/hでした。この数値であれば、ドイツの住居内でもよくあるレベルなので問題ないと実行委員会では判断していますが、この問題に対する感じ方・とらえ方は人によって大きく異なりますので、各自でご判断ください。セミナー期間中建物の外に出ることもありません。詳しくはホームページをご覧ください。
- ◎ 質問や、Web上での申し込みが不可能な場合などは、実行委員会までお問い合わせください。どうしてもWeb利用ができない方は、郵便で以下の連絡先にご連絡ください。〒305-8571 つくば市天王台1-1-1 筑波大学文芸言語専攻 相澤 啓一宛